

研究課題 (テーマ)	チャレンジ the ものづくり		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	パステル工房企画管理運営委員会	委員長	宮本 泰行
研究結果の概要			
<p><遂行内容></p> <p>ものづくりへの興味を涵養するために、見学から実践までの体験型教育を行うこと、見学および実践を通し、学生同士が協力し合い、学科を越えた交流を図ること、本取組みを広く公開し、大学の活性度評価の向上に寄与することを目的として、パステル工房が保有する設備の紹介とそれらを利用した製作体験を、実施した。</p> <p>興味・関心を持つ動機付けとなる、工房見学・錫鑄造製作体験基礎コースと、実際に工房の機械を使用して難易度の高い課題に挑戦できる応用コースを設定した。</p> <p>基礎コースは、各種ゼミの時間帯などを利用して学生が参加しやすいよう、随時開催を基本とし、11ゼミから合計152名の参加があった。</p> <p>応用コースは、開催案内チラシを準備し、全学生へメールで案内するとともに、各種ゼミなどで広く参加を募った。9月18日～30日の平日7日間開催し、風鈴、キーホルダー、リングピロー、スマホスタンドの4テーマに合計40名の申込み、35名の参加があった。</p> <p><プログラムによる成果></p> <p>見学を中心とした基礎コースは、教養ゼミの一環として取り組むゼミが多く、多くの学生が参加した。基礎・応用コースともに昨年度よりも参加者が増え、幅広い層へのものづくりの機会を提供できた。また、安全を重視しつつきめ細かな指導が行え、参加学生の評価は非常に良好であった。</p> <p>今年度も幅広い学生にものづくり体験の契機を十分に提供でき、近年では触れることが少なくなりつつあるものづくりを体感するという教育効果があったと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>アンケートの結果からは、貴重な体験であったことや、少人数での丁寧な指導であったことなどから、満足度の高さがうかがえた。また、普段使う機会のなかった機械を使うことができ、新たな経験を積むことができた学生も多いようである。</p> <p>今後も興味関心の高いテーマを調査し、参加を促す方策が必要である。</p>			